

二次医療圏協議会からの意見

- 県内事業所における健康課題がわからない
- 圏域ごとに就労状況や健康課題が異なり、
県下統一事業ではなく、圏域の特性を考慮
した事業化が必要（事業の予算化）
- 地域保健と職域保健との連携だけではなく、
学域も巻き込んだ連携体制が必要

地域・職域連携事業

●平成20年度事業(新規事業)

○事業名:健康長寿のための地域職域連携事業

○予算額:11,520千円

○事業構成

◇健康課題・連携事業の明確化を行う取組

◇県下統一的に実施する取組

◇二次医療圏域の地域・職域が連携した取組